

かみさま 神様は み言葉を通して 語って くだ

サムエルは、小さい時から神様の声に耳をかたむけることを教えられていた。サムエルが初めて神様の声を聞いたのは、ベッドの中にいた時で、だれかが自分を呼ぶ声が聞こえたんだ。サムエルは、神殿での奉仕を教えてくれていた祭司エリに呼ばれたと思った。だけどエリは、サムエルを呼んだのは自分ではないと言ったんだ。サムエルは、再び自分を呼ぶ声を聞いたので、エリの元へ走って行った。エリはサムエルに、サムエルを呼んだのは神様で、大切なお告げがあるのだろうと言った。¹そして、神様が何を伝えたいのが聞くように、と教えただ。神様はサムエルに、生涯を通して何度も語って下さったんだよ。

君も、神様の声を聞くことができるよ。聖書を読んでいる時は、幼いサムエルがしたように、神様に語って下さいとたずねたらいいんだ。サムエルみたいに、実際に耳で聞こえるような声じゃないだろうけど、聖書を読んだ時に、君の心に語りかけて、み言葉を理解するのを助け、それをどうやって実行に移すか教えて下さるんだ。

イエス様は、私たちの良い羊飼いであると言われた。そして、イエス様の羊である私たちの先頭に立ち、人生を生きる最善の道に導いて下さると言われたんだ。²だから、イエス様の声を聞き、み言葉を通して受け取る導きに従うなら、イエス様が導く方向に進んで行けるんだよ。





神様の言葉を読む時は、それをどうやって生活に当てはめるか、
イエス様が語って下さることに耳をかたむけよう。聖書には、
イエス様が人生の道を照らす光である³と書かれている。私達が
聖書を読んで勉強する時、心に語りかけ、大切なことに明かりを
投じて、教えて下さるんだよ。

以下の祈りを祈ってみよう：イエス様、これから読む聖書物語を
通して、ほく／私が毎日の生活に当てはめられることがあれば、
教えて下さい。ほく／私を導いてくれる愛情深い羊飼いでいて
下さることを感謝します！

以下も読んでね。

¹ サムエル記上 3:2-10

² ヨハネによる福音書 10:4が

「今日、イエス様についていこう」

³ ヨハネによる福音書 1:4